

# 第5回学園運営協議会



## 学校関係者評価

2026.1.14



○質問項目の内容が抽象的なので、評価結果の数値に客観性をもたせるのであれば、前期との変化に着目すべき。



○保護者向け「ほめチャレンジ10」を実施したが、家庭間格差を感じた。また、評価結果の数値の意味も考えたい。「80%」は十分高いこともある。



○学校関係者評価は、結果をもとに議論する内容を提案してほしい。方策を考える機会にしたい。



## 「令和8年度の重点的取組」

**【学園】** 【クリエイト】主体的な学びを生み出す基礎基本の徹底  
【コミュニケーション】「日の里カリキュラム」の評価・改善  
【チャレンジ】重点単元の確実な定着を図る「ひのたんタイム」と「チャレンジ10」の実施

**【家庭】** ◎「保護者も一緒にチャレンジ10」の継続的実施  
◎ほめ方の工夫



**【地域】** ◎防災行事で地域とのさらなる協働  
◎地域と学園の協働活動の増加  
◎GT、サポーターの増加  
◎子供の居場所づくりの推進



○学校評価は来年度の学園の方針と関連するもの。評価項目については、来年度の重点目標や組織と関連させ、内容の変更、焦点化を検討してほしい。



**運営協議会の様子**